

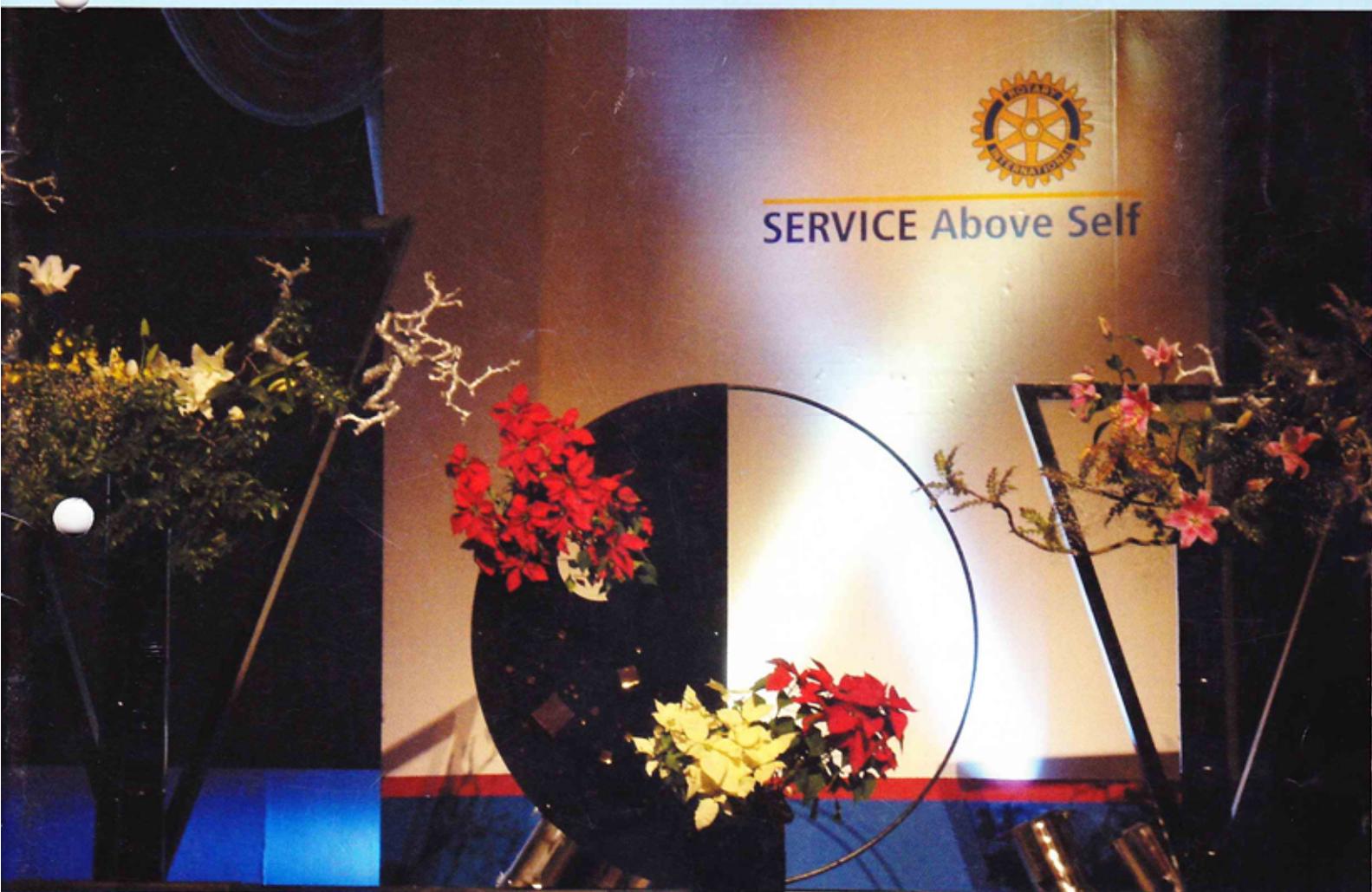
関西

学友会



2007

ロータリー米山奨学生学友会(関西)



Rotary Yoneyama Scholarship Alumni Association

23

ロータリー米山奨学生学友会（関西）は関西地区に居住する
米山奨学生OB及び現役奨学生の同窓会です。

● 目次 ●

2—学友会活動への積極的な参加のお願い	林 小微
2—学友の皆さんへ	近藤 雅臣
3—学友会（関西）について	岩田 宙造
4—米山奨学事業について	北川 哲
4—日本の年末年始	岡田 義昭
5—日本留学を考える ～異文化との出会い～	陳 思乾
6—母国と日本の架け橋	池田 文治
7—米山奨学委員となって感じること	磯田 郁子
8—2006年度秋懇親会	陳 梅隱
9—米山懇親旅行	Florian Schmalzl
10—平和と経済	梁 榮友
11—国際的ビジネス日本語人材養成理論を開発—絆、私から小さな貢献	石 若一
12—私のビジネス体験	趙 柏飛
13—スポーツの力で世界平和を祈る	周 兆昱
14—世界平和を願う、世界平和を考える	柳 恵心
15—社会奉仕活動について	林 小微

16—2006年度活動写真

17—2006年度米山奨学生学友会（関西）役員名簿

18—2005年度会計収支決算報告書

18—2006年度会計予算（案）

19—2006年度会員名簿

20—相談コーナー

20—学友消息

20—2006年度活動報告

21—会報広告依頼

21—編集後記

学友会活動への積極的な参加のお願い

元世話クラブ：和歌山東RC

林 小微(台湾)

会長



米山奨学生学友会（関西）の活動も昨年で21年目に入り、恒例の秋懇親会では、かねてから念願であった米山梅吉記念館の見学と先生の墓参を果たすことができ、非常に有意義な年でありました。いろいろな面でご協力いただきました学友、ロータリアン、役員の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、学友会の活動については今も試行錯誤し、方向を模索しているのが現状であります。年間の活動は2月に会報発行、7月に総会の開催、9月の懇親会が主なものであり、そのほかにも年に数回の役員会、2660地区の行事への参加などがあります。

私達学友は、さまざまな人たちのお蔭で、この日本で学び、生活するというチャンスを得ました。また、ロータリークラブの活動を通じていろいろな国のいろいろな立場の人たちと交流することができます。これは非常に大きな力であり、この力を使って友好の輪を広げ、世界の平和に少しでも貢献しな

ければならない。米山梅吉記念館を訪れて、これが私達学友に与えられた責務であると、あらためて考えさせられました。

これからの当学友会の方向性としては、奨学金受領後も日本社会とかかわりを持ち、相互理解を深めることができる「場」をできるだけ学友の皆さんに提供できればと考えています。しかし、いくら「場」ができて、学友の皆さんの参加がなければ意味がありません。それぞれ、仕事や研究等で忙しい中ではありますが、少しでも学友会の活動に時間を割いていただき、学友会で得られた「縁」を広げていただきたいと思えます。

この素晴らしいロータリーの輪に私達が入ったからには、やはり次の世代に平和の輪を広げることが使命であります。まず学友同士で良いPartner Shipを築いで頑張りましょう。

学友のみなさんへ

(財)ロータリー米山記念奨学会理事
選考委員会副委員長、パストガバナー

近藤 雅臣

(千里RC)



同窓会報もついに23号が発刊されます。長い歴史の中で、多くの同窓生の皆さんが同窓会の発展維持にたゆまぬ情熱と努力を傾注してこられた賜物と敬意を表する次第です。これは歴代会長、役員皆さんの率先した奉仕はもちろんのこと、すべての会員の皆さんが協力し、米山奨学会への厚意を共有してこられたからに違いありません。

今わが国の教育環境を眺めると、外国への奉仕に気をとられているうちに足元が崩れそうになっているのを実感しています。自らの国の教育もしっかり

できないのに、他国に鞭を垂れることができるだろうかと反省し、恥ずかしさを感じている昨今です。教育の改善には長時間を要することは判っていますが、一日も早く教育環境の改善、とくに高等教育機関のより高度な研究、教育への変革を達成し、優秀な米山奨学生を迎え入れる努力をしたいと思っています。米山奨学会も時代の進展に応じた変革を成し遂げつつあります。今後共皆さんのご支援ご協力をお願いします。

学友会（関西）について

2006～2007年度 RI2660地区ガバナー

岩田 宙造

(大阪南RC)



財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立され半世紀が経過し、この間106カ国、13、322名の在日留学生に米山奨学金を支給し続け、米山奨学事業も当初は「困窮した留学生の生活支援」から、今日では「明日を築く優秀な留学生を支援育成」するに変わろうとしています。また新たに現地採用奨学金制度も導入され、事業のより効果的な運営が図られています。勿論、期待される奨学生像には変わりはなく、明日の世界平和と豊かさに貢献できる若者であります。

一昨秋、RI理事会においてロータリー米山記念奨学会が多地区合同活動として認められたことは大変画期的なことで、RI元理事南園義一氏は『財団のプログラムとは一線を画し、それぞれ特徴を生かした事業として前進していくことが望ましい』と指摘しています。

1971年にカウンセラー制度が導入され、奨学生とそのカウンセラーによる交流によって、米山奨学事業の歴史が生まれ、2001年には日本政府より留学生交流功労団体として表彰されました。奨学期間を終えた米山奨学生が現役奨学生を含めて学友同士のつながりを維持し、またロータリーとの交流を継続するために米山奨学学友会が組織されました。奨学生も既に1万3千人を超え素晴らしい学友が国際交流・親善および平和の創造と維持に貢献しています。学友会活動を通じて学友同士のネットワークを広げ、ロータリー・クラブあるいはロータリー組織と連携した活動にも参加できます。日本に滞在している学友は3,395名（2006年7月現在）になり、日本国内には25団体（30ロータリー地区）、海外には韓国と台湾に2団体、計27団体が活動しています。

今後、より一層の活躍のため学友達の新しい情報の整備とその人たちのネットワークの作成、充実が急がれています。インターネットを通じた学友活動、

各学友会ではメーリングリストの作成、学友間のメール交換、ホームページで学友活動の紹介、ロータリアン、ガバナー事務所との連絡や情報交換等望まれています。学友活動は地区と連携した親睦・交流活動が主体と考えられますが、学友が自分たちの力を生かして、地域社会に貢献することも期待されています。巣立った皆さんが進学し、就職し、家庭を持ち、元気で活躍していることを多くのロータリアンに知ってもらうことも大切なことと思います。

会員同士はもとより、ロータリアンともしっかりとしたネットワークを確立し、学友であることに誇りを持ってご活躍くださることを願っています。



米山奨学事業について

2006～2007年度 RI2660地区米山奨学委員会 委員長

北川 哲
(大阪南RC)



米山奨学事業が始まって半世紀がたちました。これまでに支援してきた奨学生数は13,322に人々(2006年4月現在)そしてその出身国は106ヶ国に及びます。

年間の新規奨学生総数は1998年の1,100人をピークに年間1,000人の採用数を維持してきましたが、2005年度より800人の留学生に奨学金を支給しております。

当地区では現在39名の米山奨学生が在籍しており2007年度も40名の採用数が決められています。申す迄もなく全国34地区に割り当てられる各地区の奨学生採用数は、ほとんど寄付金の多い地区からの順位で決められることになっています。幸いにも当地区では皆さんの献身的な努力で多くのきふ寄付金を頂いておりますので、全国で4番目に米山奨学生が多く在籍している地区になっています。

しかしながら地区内RC数86クラブに対しまして、米山奨学生を受け入れて頂いているクラブはその半数にも満たない39のクラブであるのが現状です。そのためにも当地区では普通寄付金が減少している中、一段の皆様方の特別寄付をお願いする次第です。そして地区内の1つでも多くのクラブが米山奨学生を受け入れられ米山奨学事業の使命であります「将来日本と世界を結ぶ架け橋となって国際社会

で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する」という国際奉仕活動でありかつ青少年活動奉仕でもあるこの事業に積極的に参加して頂きたいと思います。

一方、米山奨学生がこの使命に応じて将来活躍する成果は、すぐに見えるものではありません。長期間の壮大な投資であるといえます。

米山奨学事業がスタートした12年後の1968年、当時の米山記念奨学会の新田義実専務理事が次の様に寄稿しておられます。

「こうして育てられた学生が、学業成って帰国後、社会人として立派に成長し、国際親善の楔となりロータリアンが庶幾きする人間となって、事業に挺身するありさまに接するとき、過去の繁雑なお世話等超越して、世界にも類の少ない、崇高な国際奉仕の一つ、米山奨学会の理想達成のために一臂の力を貸したという自覚は、何にもかえがたい幸福感、満足感であると確信します。」

これは後に続く私達への「継続」へのメッセージであり又その半世紀後の今、先輩ロータリアン達の大きな成果を元米山奨学生に見るに及んで今一度私達は原点に戻り、事業理解の輪を広げる様、協力しあおうではありませんか！

日本の年末年始

2006～2007年度 RI2660地区米山奨学委員会 副委員長

岡田 義昭
(大阪淀川RC)



学友の皆さん

新年明けましておめでとうございます。この年末年始をいかがお過ごしでしたでしょうか？大晦日の深夜、日本各地のお寺で108の煩悩(ぼんのう：

心身を悩ます全ての欲望)を除くため108回鐘がたたかれます。これが終わりますと、神社の初詣が始まります。

昔は歳神様を家に迎えるため玄関に門松をたてま

したが、大きな家や施設は別としてマンションのように玄関の小さい家屋が増えましたので、最近は使用しない家が増えました。藁で作った「しめ飾り」は、前年の悪や不浄を追い出し、災いの侵入を防ぐためのもので、普通12月30日までに飾ります。「おせち料理」は地方によって素材・調理法が異なり、一般的なものを挙げてみましょう。

まず「ごまめ」。これは「かたくちいわし」の稚魚で、むかし畑の肥料になったことから「田作り」ともいわれます。にしんの卵である「数の子」は子孫繁栄を縁起として食します。蒲鉾（かまぼこ）はめでたさを表わすために薄切りを紅白に重ねて食します。

一般的にめでたさは紅白、悲しみは白黒です。豆料理は「まめに暮らす一元気に暮らす」ことを意味し、ゆでたエビは「腰が曲がるほど末長く生きる」ことを願って重箱に飾られます。「ん」のつく野菜、

ごんぼ、にんじん、だいこん、れんこんなどは昔から神前に供えられましたので、お正月にはこれらが料理に用いられます。お雑煮（ぞうじ）は、本来神様に供えた鏡餅を割り、野菜その他を加え、吸い物で煮て食します。作り方は地方によって素材や調理法がまちまちです。武士の世界からはじまった質素儉約の江戸—東京では、餅、鳴門巻、ほうれん草をすまし汁で食しますが、商人の町大阪では、丸餅、大根、豆腐を白味噌の汁で食します。

こうしたお正月の食文化も年代とともに変化し、最近のおせち料理には肉系の料理が増え、若者向きに作られるようになりました。いずれ新しい料理が定着すると、語呂合わせでなんらかの意味付けをするようになるでしょう。こうした日本の文化・風習になじんてください。

シンポジウム

日本留学を考える～異文化との出会い～

台湾米山学友会主催（台北にて）

元世話クラブ：大阪淀川RC

陳 思乾（台湾）

台湾米山学友会（正式名：社團法人
前会長、台北東海RC会員

中華民國扶輪米山會



台湾米山学友会主催のシンポジウムが2006年9月23日土曜日、台北市内で開催されました。

かつて日本に留学し、幸運にもロータリー米山奨学生として選ばれた仲間の集まりが年月過ぎた今も、経済的支援を頂いて勉学をし、ほかの留学生では体験しえない、日本人の皆様と心の交流ができたことに感謝しています。この『お世話になった恩返しをしたい』という気持ちが、今回のシンポジウム実現の原動力となりました。

今回の参加者総数は当初の期待を大きく上回る433人。日本留学に関心のある台湾の学生・社会人が150人、日本からも113人ものロータリアンが参加しました。

台湾の米山学友が自らの経験を通じて、台湾の若

者に日本留学の魅力をアピールしようという今回の企画。「日本でお世話になった恩返しにもなれば」と、台湾学友会、全員が一丸となって力を合わせました。

参加者からは「留学の決心が固まった」「生きる道を見つけた」などの感想が寄せられ、日本のロータリアンからも、「寄付金が生かされていることを実感した」「日本から参加した甲斐があった」と、高く評価され、成功裏に終えることができました。遠路はるばるご参加いただきました日本のロータリアンの皆様方、そして常々お世話になっている学友の皆様方に厚く御礼申し上げます。

「母国と日本の架け橋」

2006～2007年度 RI2660地区米山奨学委員会 委員

池田 文治

(大東中央RC)



2月4日に「米山奨学生歓送会」が行われ、本年度の奨学生の内28名が無事に奨学期間を終了されました。終了された皆様、本当におめでとうございます。

歓送会の中で皆様の話を聞いて、一年前、または2年前の「米山奨学生オリエンテーション」を思い浮かべました。奨学期間の間に皆様が心身ともに大きく成長された事を本当にうれしく思います。

これから皆さんは、世界に羽ばたいて行きます。既に世界の色々な国で活躍している「学友会」の先輩達もたくさんいます、日本での生活、そしてロータリークラブの事を忘れず、機会があれば例会に参加して下さい。ロータリアンは暖かく迎え入れてくれるでしょう。

私は「米山奨学制度」を通じて「学友会」の皆様と知合う事が出来た事を本当に誇りに思います。皆さんは、とても大きな「可能性」を持っています。これから先、多くの人と関る事で、その「可能性」は、大きくなって行きます。これからも、そして今迄の人との「関わり」も大切にしていきたいと思えます。必ず役に立つ事があります。いつもお互いに連絡する事が出来れば良いのですが、忙しくてそうはいかないと思いますが、最低「連絡取りたい時、連絡出来る」関係でいて下さい。日本では年初めの1月1日に手紙をやり取りする習慣（年賀状）があります。又は、クリスマスカードでも良いでしょう。

世界の何処に居ても日本の事、「ロータリークラブ」の事を思い出して下さい。そして、色々な人達に「君達とロータリアンの関係」を伝えて下さい。

「世界平和」とか「国と国の懸け橋」という事を、決して難しく考える必要はありません。まずは一人一人が出来る事、例えば母国に帰って友人達との集りの中で日本での出来事を話してみして下さい、例えば大学の教授の事、月に一度ロータリークラブの「例会」に参加した事、カウンセラーやロータリアン

と過ごした事、日本の文化や考え方など、話を聞く友人達は、日本という国に親近感を懐いてくれるでしょう。又、日本の事だけでなく日本で出会った色々な国の友達の事を話したらどうでしょうか。これから自分の学んで来たことを生かして仕事をした時、仕事を通じてもっと多くの人に話をする機会があるでしょう。私達ロータリアンもクラブの中だけでなく、色々な機会を通じて、たくさんの日本人に君達の事を話したいと思えます。

これは立派に「世界平和」につながる「懸け橋」では無いでしょうか。是非がんばってください。

毎年、当2660地区だけでも30名前後の奨学生が世界に羽ばたいて行きます。奨学期間が終了して私達との関係は新しいスタートを迎えた訳です。「奨学生」ではなく、今度はお互い「社会人同士」の関係です。

とりあえず、思い出した時に、いつでも連絡取れる様な「懸け橋」を必ず作って下さい。



米山奨学委員となって感じること

2006～2007年度 RI2660地区米山奨学委員会 委員

磯田 郁子

(大阪東淀RC)



私は2006～2007年度 地区米山奨学委員をさせて頂いております。初めての委員会ですべてが新鮮で、楽しくまた勉強になることばかりです。何より、米山奨学生の皆さんや学友会の皆さんと様々な所でお目にかかり、お話しできることが非常に有意義です。

わたしは20年ほど日本語教師の仕事をしてきましたが、そこで出会う留学生との関わりとはまた違った関わりがこの委員会を通じてできるので本当に楽しませて頂いています。

ここでこの半年で感じたことを述べたいと思います。ずいぶん以前、米山奨学生は外の奨学金制度と同じように金銭的に困窮している学生を救う、という目的の方が優先されていたように感じます。しかしここ数年は米山奨学委員会の方針が浸透したのか、人物本位で本当に日本やロータリーを理解しようとしている人、将来、日本のよき理解者となり、母国と日本の架け橋として力を発揮してくれるであろう人が採用されているように思います。金銭的な援助をしてくれる奨学金は数多くありますが、このロータリーの米山奨学金のような主旨で留学生を援助している奨学会は外にないのではないのでしょうか。

しかしながら未だに、米山奨学生に対して古い考えをお持ちのロータリアンがいらっしゃるの事実です。先日も「例会にブランドのかばんを持ってきた」「そうだ、そうだ、うちのもいい服装をしている」などとぼやいておられる方々がありました。奨学生＝貧しいという感覚をお持ちなのでしょう。やはりこの2660地区のロータリアンには米山奨学金の意味をよく理解し、どんな目的で奨学生を採用しているのかを今一度確認して頂ける機会があればと思います。

私がロータリーに入会して出会った米山奨学生の方々は皆さんよく日本を理解し、日本人以上に日本を愛している方々でした。そして卒業後も日本に残

り、米山学友会の活動を支えてくださっている皆さんもいらっしゃいます。また帰国し、日本のすばらしさを母国の方々に伝えている方々もいます。日本政府ができなくてもこのロータリー米山奨学会が世界の様々な国々に日本のよき理解者を作り、日本のという国のすばらしさを伝えていくことができます。

先日行われた米山奨学生の終了生歓送会で、「この終了式が終わりではなく、これからもずっとロータリアンの皆さんとの関係が続くんだと思うとうれしいです。」という奨学生のスピーチを聞いて、胸が熱くなりました。これこそがロータリーのやっている留学生支援のなどと感じました。

私はこの米山奨学委員会の一員に加えて頂いたことを改めて感謝し、私のできることを少しずつ探しながらこれからも精一杯務めさせて頂こうと決意を新たにしています。



2006年度秋懇親会

元世話クラブ：箕面中央

陳 梅隱 (中国)

大阪外国語大学 大学院言語社会研究科 3年



9月29日、30日の二日間、2006年度関西地区ロータリー米山奨学生学友会の秋懇親会が行われました。今回の懇親会に参加されたのは、大阪東淀RCの磯田郁子先生とご家族、千里メイプルRCの下川美弥子先生、顧問の林錫璋先生を始め、学友会の役員、OB、現役奨学生とご家族、友人を含め、35名でした。

初日の9月30日の朝、私たちはバスに乗って、目的地の米山梅吉記念館がある静岡県に向かいました。当日の天気は曇りでしたので遠くの風景があまりきれいに見えなかったのですが、涼しくて快適でした。

5時間あまりの時間を経て、お昼の3時ごろ、私たちは米山梅吉記念館に到着しました。米山記念館は静岡県中部の駿東郡長泉町の緑に溢れたところにあります。そこには、日本のロータリークラブを創立した米山翁の遺品、奉仕活動の資料とロータリーの創生期の資料がたくさん保存されています。

私たちはまず一階にあるホールで、米山翁の一生を描くビデオを拝見しました。このビデオと三つの展示室にある米山翁と創立された当時のロータリークラブの貴重な資料を拝見することで、我々は米山翁の奉仕の一生を深く知ることができ、彼と職業奉仕を理念としているロータリークラブに対して尊敬する気持ちをもっと深まりました。その敬慕する気持ちを持って、我々一行は、同じ時間帯に訪れていた他地区のロータリークラブ一行と、記念館の裏側にある米山家のお墓を参りました。

その晩、私たちは山中湖のペンションに泊まりました。シェフのおいしい料理と自家栽培のハーブティーを体験したり、都会ではなかなか見られないきれいな星空を楽しんだり、ハーブのお風呂に入ったりしていて、有意義で楽しい一日を送りました。その翌日は朝から小雨模様ですが、私たちは磯田先生のお子さんのショウちゃん、カホちゃんと万軍民元奨学生のお嬢さんのシンちゃんの元気いっぱいの歌声

とともに帰り道を歩み、秋懇親会を終えました。

今回は天気に恵まれていなかったため、多くの皆さんが望んでいた富士山はほとんど見えませんでした。しかし、かつてのロータリー奨学生として、念願の米山梅吉記念館を参観したり、いろいろな国の皆さんと交流したりする貴重な体験ができてすごくよかったです。そして、参加した皆様にとってもよい思い出になったでしょう。

皆様、お疲れ様でした！



米山懇親旅行

Florian Schmalzl (ドイツ)

こんにちは

僕はドイツのハンブルグからきた交換学生です。9月で16才になりました。スポーツが好きで大好物は牛乳とチョコレート、ソーダです。どうぞよろしく！

(大阪西南RC)



The Yoneyama Rotary-Trip was a trip to the grave of Mr. Yoneyama, the founder of Rotary-Japan. Most of the Rotary-Yoneyama students took part at this travel. We all learned a lot about the Rotary history and also made new friends and relations. In the end the trip was a great experience for everybody, so now I want to tell you some more details: At September 30th our trip started at about 8:00 o'clock in the morning at Osaka-Station. On the way to Yoneyama-Hall and Museum, we made some stops at rest-houses to refresh and eat something and than arrived at about 3:00 p.m. at the Yoneyama Hall and Museum. After some brochures were handed to us, we watched a movie about Yoneyamas life: Umekichi Yoneyama was born in 1868 and died in 1946. With 20 he went to the United States for eight years, taking part at the Belmont Academy in California, Wesleyan University in Ohio and Syracuse University in New York. Back in Japan he wanted to be a writer, but in the end he became the Managing Director of the Mitsui Bank. We also watched the little but quite informative museum, where we could see many things of his life, for example the uniform he wear during his examination. After that we visited his grave/shrine and prayed for him. We went back to the bus and drove to a mountain close to Fuji-san. There we checked in a great hotel, with awesome food and a nice ofuro. Some people went for a little walk at the evening to see Fuji-san by night. At September 31th we got up at 7:00 a.m., took a bath, ate breakfast and got back to the bus, which drove us down to lake Ashinoko. After visiting the souvenire shop there we went around the whole lake with a great boat. The view was awesome! We could not see Mount Fuji, because of clouds, but the beautiful and pure nature was even beautiful without. On the remaining way back home, we made again some stops at rest-houses and finally arrived at Osaka-station at about 9:00 p.m.. In the end I can say, that it was a not only informative, but also interesting and beautiful trip and I'm very glad I had the oppurtunity of joining it. I want to thank everybody, who made this possible and thanks to all who took part!

懇親会旅行の写真



注) フロリア君はロータリー交換学生プログラムにより2006年8月22日に来日し。当初林会長宅にホームステイしている時に学友会の懇親会に参加しました。

平和と経済

元世話クラブ：印西RC

梁 栄友 (韓国)

岡山教会 牧師



「戦争が起きるのは、二つの国が互いに相手を誤解するからである。異なった民族同士を隔てている諸々の偏見が根絶されるまでは、我々は平和を手にすることが出来ないであろう。」

しかし、平和を手にするために「あらゆる国の若人を定期的にかつ所に集め、肉体の力と敏捷さとを友好的に競わせることほど有効な手段が、ほかにはあるか」と近代五輪の父クーベルタンは、アテネで第一回大会が開かれた1896年に書かれた内容であります。

さて、平和の「和」という言葉は、禾と口が一つになっています。このノギヘンとしての禾は「稲・種・穂」などがそうであるように、「米」をあらわします。

つまり平和の和とはコメに口、食物があって人の平安、和平は守られ、保たれることを意味しているのでしょう。まさに「衣食足りて礼節を知る」です。

経済的に守られて平和を保たれる、これは世界的に例外はないのではないのでしょうか。

そういえば、外国でも日本でも国際会議にはレセプション・会食はつきものです。

これは互いに心をつにして食を共にすることを抜きにして平和や信頼は成り立たないものなのだというわけでしょう。

「平和とは相互に信頼して一緒に食べること」と定義できるのかも知れません。

主イエス・キリストが「天国はこのようなものである」と言って譬えを語られた中に、食卓を共にし、宴を楽しむ様子を描いているのも、究極的平和は共にテーブルを囲むことということを暗示しているのでしょう。キリスト教会ではそれを聖餐式によって先取りしているのです。

「汝が平和を分け与えるとき、その手でパンを裂き、パンを分かちことによってパンを増す。平和はそのパンに似ている」と言ったのは、かのアウグス

チヌスでした。

無資源国の日本が、世界で有数の生産国となり、農地の少ない国でこんなに食材にあふれているのは、全世界の国々のおかげであることを思わないわけにはいきません。それであるなら、難民を保護し、亡命者を援助し、発展途上国の経済安定のために寄与しなければなりません。

「平和は力で保つことはできない。理解によってのみ平和を達成できる」とアインシュタインは言っている。

医療スタッフの派遣、技術援助、第三世界への支援や、難民救済のための出資、GNPに対する比率をどの国よりもアップする、これらは「有事立法」の成立より大切なことでありましょう。学友会は小さい団体であります、小さいことから積み重ね、平和のために社会貢献に携えていくのが望ましいでしょう。自分ができるものを忠実に行なう時に、平和の光が見えて来ると思っています。

住所変更

〒700-0026 岡山市奉還町2-10-9

電話086-254-2351 (FAX兼用)



国際的ビジネス日本語人材養成理論を開発 ——絆、私から小さな貢献

元世話クラブ：住吉RC

石 若一

大連大学日本語言文化学院 副教授



ロータリーアンおよび米山奨学生のみなさん
久しぶりです。2660地区住吉クラブにお世話
になった元米山留学生の石若一です。いま、大連
大学日本語言文化学院で四年生に日本企業経営、
マーケティング、国際貿易運送及び保険、都市概
論、不動産経営、ビジネス文書、日本語表現論、
基礎日本語、日本経済論など8課目を教えていま
す。

1991年大阪市立大学大学院経営学研究科を
卒業後、大連の大学に戻り、進出する日系企業の
コンサルティングや投資顧問をしたうえ、もと三
井海上保険大連事務所の所長を経て、現在の大連
大学でビジネス日本語科の学生にビジネス日本語
などを教えながら、国際的ビジネス日本語人材養
成理論を開発しています。

なぜ、国際的ビジネス日本語人材養成理論を開
発するか、私が帰国後の移り変わりの経験から思
ったのは日本語を身につけただけで、日本社会、
日本文化、日本企業に溶け込んでいくことはまだ
難しいと認識しはじめたのであります。

現在中国の日本語学習者数は30万人を超えて
、もう韓国並みの人数になっています。近年、中
国の大学入学率が上がり、全国的な大幅の入学人数
を数倍の急ピッチで成長しているが、進出してい
る日系企業の数と資本投資額の成長は横ばいのま
まとなり、これから数年間、日本語人材のニーズ
が減少ではないかとの心配があります。

また、みな1人っ子なので、苦勞も努力もしな
いわがままの大学生が多く、いま、中国国内で養
成した卒業生は日本語能力試験一級に合格しても、
企業からの評価が低く、役に立たないものが多い
わけです。

そこで日本語プラスアルファが必要となり、大
学カリキュラムと課程の再編成をして、ビジネス

日本語を始めたわけであるが、新理論、新教材、
教員の育成、教育方法の創意工夫などがもめら
れて、私はいまその開発に取り組んでいます。

新理論として、授業中の協働、教師全員参加型
の学年別による段階式指導、コミュニケーション
スタイル教材の開発、モデルケースのシュミレー
ション、卒業生の情報フェードバック、またビジネ
ス日本語テストの対応指導を進めています。

学生のコミュニケーション力、問題分析と解決力、
交渉力、情報送信力、思考力、ミクロ的经营力な
どが不足で、これらの知識と実務の向上に勤めた結果、
04、05年に指導した卒業論文は連続的に全国日
本語学科卒業論文コンクールの三等賞と一等賞に
入賞しました。またビジネス日本語について私は
3年間で雑誌に論文15篇を正式に発表しました。
いま、ビジネス日本語の著書3冊、カタカナ語辞
典を同時に編集しています。日本語の関連参考書
や資料が少ないにもかかわらず、グローバルの日
本語人材の養成に貢献しています。最後に皆さん
にお願いしますが、参考文献不足のため、経営、経
済、教材、授業法やビジネス日本語に関連の古本
があれば、ご連絡ください。



「私のビジネス体験」

元世話クラブ：東大阪RC

趙 柏飛(中国)

(株) テクノス上海支店長



私は奨学生時代に、東南アジア共同体について勉強しました。そこで将来この地域の一層の経済発展および相互の結びつきがより深くなることを改めて認識しました。

私は大学院修了後の進路として、これまでの勉強・10年以上の日本での滞在経験、そして様々な縁を通じて主に中国と日本との貿易(半導体・LED関連)を始めました。ビジネス経験の少ない私は、最初の一年で多くの困難・障害に遭遇しました。注文の突然のキャンセル、注文商品の不良などに対して、お客さんへの誠意ある対応を第一に、信頼の維持に注意を払いました。この一年の上海での経験は、私に多くの課題を与えるとともに、良い経験ともなりました。

私がビジネスで多くの課題に遭遇した時、お世話になったロータリークラブの皆様を思い出します。なぜなら、クラブの皆様の多くは、会社や事業経営者の方たちで、最初はみなさん多くの苦勞があったことを何度か聞いたことがあるからです。またそれだけでなく、私の事業について多くのアドバイスや協力を頂いております。

日本との中国との経済的交流はますます活発になっており、大企業だけでなく様々な企業そして商品において行われていることを私は身をもって体感しました。統計上においても日中両国の貿易の比重は高まり、お互いに相手なしでは経済に大きな混乱を及ぼすほど強い結びつきがあります。しかし、両国のビジネスの上でのトラブルが多いこともよく聞きます。実際中国人である私でも、不良品の割合の高い商品が届いたり、契約上のトラブルに会うこともありました。これが、商習慣が異なり、考え方・言葉の異なる日本企業との取引ではトラブルの可能性が高くなることは避けられないかもしれません。

そのような問題の解決に最も必要なことは、相手を知ることです。また多くの付き合いがあれば、様

々な情報を得ることもできます。

ビジネス以外の分野においても、相手をよく理解しないことによる誤解やトラブルを減らすには、お互いのコミュニケーションを通じ相互に理解する必要があります。

私がお世話になったロータリークラブの活動は、教育活動を中心にしてそれを実践するものでした。相互理解と助け合いという、社会というものの基礎を構成する分野において、クラブの活動は関係国に有形・無形の多くの利益をもたらすものであると確信しております。

私個人も、ロータリークラブの皆様には、奨学生時代だけでなく、修了後も様々な面で支援して頂きました。これからも奨学生であった時の気持ちを忘れずに、私は日本と中国の相互発展のために、ビジネスを通じて貢献できるようにがんばります。



スポーツの力で世界平和を祈る

世話クラブ：守口イブニングRC

周 兆昱(台湾)

大阪大学大学院法学研究科 博士後期課程



来日した前に、私はすでに台湾で放送された日本語番組（台湾では3つの日本語チャンネルがあるために、殆ど24時間日本語番組を観賞できます）及び日本語先生から色々な日本に関する情報を知っていますが、実際に来た後また生々しい日本生活に驚かされたことがたくさんあります。私はオリンピック年であった2004年に来日し、今年が3年目になります。この間、アテネオリンピックを始め様々な国際スポーツ大会が開催されており、日本人のスポーツ競技に対する情熱を身近く実感できました。

台湾人の私にとって、盛り上げられるスポーツ競技といえば野球しかありません。これに对照して、日本人は様々なスポーツ競技にも興味を持ってほぼ一年中スポーツ中継の番組が見られています。オリンピックのような4年一度の超大型スポーツ大会がもとより、プロ野球、サッカー、バレーボール、（以上は年中又は夏を中心に）、駅伝（マラソン）、フィギュア（冬のスポーツ）乃至日本の国技でもある大相撲など、確かにスポーツファンの天国と言えます。しかも、ただ自分の家でテレビの中継を見るのみならず、実際に足を運んで球場やスタジアムに行き現場で好きな選手を応援する人も大勢います。さらに、現場でお互いに名前も知らないが同じチームのサポーターであるかぎり、皆が心1つになれるような画面を見れば、留学生である私にとって、最初はちょっと信じがたいと感じられます。なぜ冷静にかつ理性の日本人は、こうした普段とまったく異なる顔をも有しますか？

しかしながら、つい最近私もスポーツの有する不思議な力を実感できました。

日本は今年（2006）の世界バレー大会の主催国であるために、日本チームの全試合が生中継で放送されていました。その中に、女子代表の初戦の相手はちょうど台湾チームであって、私もテレビ中継で試合を見ました。試合の結果は予想外といえるでしょ

う。国内ではマイナーのスポーツ項目であるバレーボールの台湾チームは、いきなり昔東洋の魔女と呼ばれる日本代表を破って、白星スタートをマークしました。その後台湾代表もこの勢いに乗って、予選リーグを5戦全勝で通過しました。自国の代表チームの大健闘を見れば見るほど、台湾人としての誇りを感じられます。やはりスポーツの力は想像以上大きいといえます。

スポーツの世界の中に、人口や貧富を問わず国々とは同じルールを従えば平等のチャンスを獲得することができ、まるで現代国際社会においてもっとも（唯一）公平な舞台です。すなわち、スポーツマンシップにのっかって全力を尽くした後、選手同士にまたよい関係を持つのはスポーツの世界のみではないかと思っています。さらに、スポーツ活動を通じて、普段交流し合う機会のない人々もお互いへの理解を促進することができます。したがって、これからもスポーツの力を以って世界中の国同士の仲をよりよくさせましょう。



世界平和を願う、世界平和を考える



世話クラブ：吹田西RC

柳 恵心 (台湾)

大阪外国語大学大学院 言語社会研究科 博士後期課程

「世界平和を願う、世界平和を考える」という大きな目標に向け、奨学生の私でもできることを一つ紹介したいと思う。

2006年9月30日、ロータリー米山奨学生学友会（関西）が主催した秋の懇親会に参加し、静岡の米山記念館を見学した。一泊二日の旅行で、沢山の学友と知り合え、交流も深まった。この旅行には学友のOBから、現役の奨学生、そして大阪東淀RCの磯田郁子様と千里メープルRCの下川美彌子様も同行して下さった。米山記念館やお茶の農家を見物したり、芦ノ湖で船に乗ったりして（かなりの悪天候だったが、冷たい雨の中の一味違う富士山の姿を楽しむことができた！）とても楽しかった。強行軍の二日間でもあったが、大変充実した時間であった。この旅行がきっかけとなり、千里メープルRCの下川美彌子さま様と知り合え、次に述べるフォーラムに招かれた。出会いは本当に不思議なものだと思う。11月16日、ホテル阪急エキスポパークで行われた千里メープルRC主催の留学生フォーラムに参加した。主旨は留学生との交流を通して、千里メープルRCの方々に外国人の日本に対する印象を知ってもらう事である。他にもアメリカ人、インド人の友人を誘った。

千里メープルRCの会員を除き、参加した学生は8つの国や地域から合計9名であった。会員たちと一緒に食事をしながら、

- ①「あなたは母国では、日本及び日本人に対してどんな印象を持っていましたか？」
- ②「実際に日本に来てどう感じましたか？」
- ③「日本と日本人に何を期待していますか？」との三つのテーマについて話し合った。

千里メープルRCの方々がとても和やかな雰囲気をおうちに作って下さり、留学生たちはそれぞれ違う国から来て、日本や日本人について意見交換ができた。その中で大部分の外国人留学生が感じた日本

は几帳面で、少し「閉鎖的」だという事であった。私も日々の生活の中でそれを感じる機会が多くある。反面、留学生たちは自分の国と日本との架け橋になることは同時に使命だとも感じている事が分かった。私も日本と日本人の事をもっと知り、また台湾の事をもっと日本の方に知ってもらい、台日の絆を作ることに努めたいと思う。

対話があるからこそ、お互いを理解することができる。偏見も無くなり、誤解も解けるだろう。このようにして、皆で手と手を繋いで、平和な世界を築き上げて行くことができる。私はそう信じている。そして、不思議な出会いは、まだ続く。



社会奉仕活動

元世話クラブ：和歌山東RC

林 小微(台湾)

会長



私達が社会で生きていく以上、その社会とうまく付き合っていく必要があると誰もが知っています。また私達外国から来た者としては、この国と自分の生まれ育った国とを行き来をしいかに、お互いのいいところを見習い、互いにと支えあっていくことが大切だと思います。

この3年間、学友会は日本社会とのかかわりを深くすることを目的として、年に2回ボランティア活動に参加してきました。社団法人家庭養護促進協会・大阪事務所が行っている『今宮戎での飴売り（1月）』と『親子DE運動会（11月）』のお手伝いです。しかしながら、多くの学友やご家族に参加していただいたとは言えない状況であり、学友会として適したボランティア活動とは・・・、というようなことを考えています。

今年8月に「IAAF世界陸上2007大阪」が開催され、世界中からアスリートや関係者が大阪にやって来て、主催者がさまざまなボランティアを募集しています。私たち学友にできる通訳などのボランティアもあります。このような国際イベントなどがあるときに時間の許す限り参加することができれば、国際交流の促進、母国と日本の橋渡しに役立てると思います。もちろんボランティア活動は誰かから強制されるものではなく、あくまで自発的なものでなければなりません。

学友の皆さんはすでにそれぞれのコミュニティにおいてさまざまな活動に参加されて国際交流を盛んにしていることでしょう。そういった活動の情報を知る一助になればと老婆心ながら『大阪ボランティア協会』のホームページと『なにわっ子学びサポーター』の連絡先を載せておきます。いずれも各自の登録が必要となります。

次回の会報には学友の皆さんからの活動報告を掲載できることを楽しみにしています。

*財団法人大阪ボランティア協会

<http://www.osakavol.org/index.html>

*なにわっ子学びサポーター

大阪市学校支援人材バンク

〒530-8201

大阪市北区中之島1-3-20

大阪市教育委員会 指導部管理課教育改革担当

TEL06-6204-9194



2006年年度活動写真



米山梅吉記念館にて



RI2660地区大会 (大阪国際会議場にて)



米山家お墓

米山奨学生学友会(関西)役員リスト

(2006.07.01~2007.06.30)

役 職	名 前	元世話クラブ	E-M a i l
会 長	林 小微	和歌山東	info@ri2660k.memopad.org
幹 事 長	潘 振興	奈良大宮	victor@toys-jp.net
副 会 長	塔 娜	岡 山	tana5@vet.osakafu-u.ac.jp
相 談 役	重光世洋	大 阪	
	清河雅孝	京 都 東	bengoshi-km@nifty.com
	陳 麗華	奈 良	chinleika1983@yahoo.co.jp
顧 問	林 錫璋	名古屋西	kenji@andrew.ac.jp
会計監査	莊園福松	神 戸	
学 術	朴 日	大阪東淀	piaoro@hotmail.com
会 計	李 麗俞	奈 良	anpeigai@yahoo.co.jp
書 記	王 蔚	山 口	xmrxt434@ybb.ne.jp
	楮 斌兵	横浜田園	chu.binbing@daikin.co.jp
会 報	潘 振興	奈良大宮	victor@toys.jp.net
	サルジャナ	枚 方	yanalaron@yahoo.co.jp
庶 務	李 瑞芳	大阪柏原	liruifang@excite.co.jp
国際交流	玄 聖姫	大阪うつぼ	seihime29@hotmail.com
	陳 梅隱	箕面中央	chen_my53@hotmail.com
親 睦	李 倩	大東中央	anneleeqian@hotmail.com
HP管理 (03年度分)	張 金隆	高 槻	diunjp@yahoo.co.jp
HP管理 (新年度分)	林 小微	和歌山東	info@ri2660k.memopad.org

学友会(関西)ホームページURL <http://ri2660k.memopad.org>

在住外国人のLiving Information URL <http://popeye.ih-osaka.or.jp/enjoy/jp/index.html>

ロータリー米山奨学生学友会（関西）

2005年度会計収支決算書

自2005年7月1日～至2006年6月30日

●収入の部

科目	金額	備考
前年度繰越金	¥1,464,291	
特別補助金	¥100,000	2660地区RC
会報補助金	¥94,500	米山記念奨学会会報22号
会費収入	¥34,000	
総会収入	¥137,000	
総会補助金	¥54,000	米山記念奨学会
秋懇親会収入	¥96,000	
秋懇親会補助金	¥48,000	米山記念奨学会
広告費収入	¥60,000	
利息収入	¥7	
寄付金収入	¥74,531	
総計	¥2,162,329	

●支出の部

科目	金額	備考
運営費	¥93,180	
事務用品費	¥6,584	
交通費	¥29,650	
会報作成費	¥189,000	
寄付金支出	¥30,000	家庭養護促進協会2万 ジャワ地震1万
総会費用	¥444,640	
秋懇親会費用	¥240,949	
通信費	¥51,562	
次年度への繰越金	¥1,076,764	郵便貯金：¥1,049,083 現金（手元有高） ¥27,681
総計	¥2,162,329	

ロータリー米山奨学生学友会（関西）

2006年度会計予算（案）

自2006年6月1日～至2007年7月30日

●収入の部

科目	金額	備考
前年度繰越金	¥1,076,764	
会報補助金	¥100,000	米山記念奨学会
会費収入	¥34,000	
総会収入	¥130,000	
総会補助金	¥50,000	米山記念奨学会
秋懇親会収入	¥90,000	
秋懇親会補助金	¥40,000	米山記念奨学会
広告費収入	¥50,000	
総計	¥1,570,764	

●支出の部

科目	金額	備考
運営費	¥80,000	
事務用品費	¥10,000	
交通費	¥30,000	
会報作成費	¥200,000	
総会費用	¥450,000	
秋懇親会費用	¥250,000	
通信費	¥50,000	
寄付金支出	¥20,000	(社会法人家庭養護促進協会¥20,000)
次年度への繰越金	¥480,764	
総計	¥1,570,764	

以上ご報告申し上げます。2006年7月1日 会計監査報告 会計 李麗俞 会計監査 荘園福松

～個人特別寄付に感謝いたします。～

2005年に山本和雄様、北川哲様、磯田郁子様、永江溥様、清河雅孝様、大塚賢龍様

2006年度会員名簿

00066	重光 世洋	05610	許 点淑	10339	黄 嘉琪	12303	王 杭祥
00168	中山 勝富	05669	傅 傑	10340	黄 濟華	12305	ラヒミ・ダラバド, ロバヘ
00204	林 錫璋	05703	国本 徐佳	10349	朴 永哲	12306	陳 梅隱
00236	香島 明雄	05757	鄧 祥興	10454	王 蔚	12307	其 格
00304	曾根 憲昭	06060	賴 愛華	10662	高 穎	12308	張 國樂
00372	郭 顯榮	06235	張 文	10981	陳 曼瑜	12309	鄭 沼泯
00465	郭 許瑶琴 (372の妻)	06335	陳 婉萍	10982	陳 寶	12310	サフォーノフ, アレクサ ンドル(ケ-ツ)
00497	徳山 卓也	06338	李 煥	10985	ガルカ, イワナ	12311	黄 于珊
00577	清河 雅孝	06340	李 虎	10986	黄 勳霆	12312	ド・クアン・ロン
00590	豊田 秋雄	06341	李 玉軍	10987	黄 宇芳	12313	張 林
00596	林 宏作	06359	樂 萌 (南 萌)	10988	金 錫華	12314	黄 雪丹
00651	東 正伯	06522	リジャル, ホム・バハドゥル	10990	郭 修静	12315	金 珉庭
00734	宮崎 ちな (幸珍)	06697	蔡 世蓉	10991	李 周嬉	12320	李 宝炫
00926	陳 玉熙	06706	ハサブラブ, ハミッド・ モハメッド・A.	10992	李 倩	12321	金 漢九
00972	魏 栢良	06722	潘 振興	10993	林 嵐娟	12322	申 春野
00975	莊園 福松	06739	安 時亨	10994	柳 偉達	12323	胡 絢静
35	南 俊彦	06740	ボストン, ルイ・ヘンリ・クワミ	10996	ギェム・ベト・ハー	12324	李 瑞芳
01139	藤方 彰二	06831	陳 章祺	11000	朴 日	12326	サルジャナ
01140	武田 維明	06972	江 南	11002	阮 翔	12327	李 強
01265	森重 映蘭	07358	ジャルバット ウボンチャート	11004	孫 忠男	12328	太 武原
01266	張 璧東	07407	崔 美淑	11006	吳 非	12449	張 海東
01279	鍾 雲海	07440	熊 徳富	11013	丁 旭	12503	尹 英和
01409	大塚 賢龍	07673	陳 於華	11019	朴 賢淑	A0554	黄 永熙
01538	李 惠玲 (布留川惠玲)	07693	東 林華	11184	黄 靖薫	A0555	周 萍
01704	黄 晨昌	07697	塔 娜	11186	朴 銀姬	A0556	蔡 純
01718	林 小微	07797	布日古徳	11311	林 碧虹	A0557	周 兆昱
01868	李 麗愈	08168	王 宏	11499	游 凱琳	A0558	于 海玲
01874	謝 一忠 (高本 一忠)	08229	曹 茗	11524	金 粉花	A0559	グェン・ゴックミン
01884	松井 仁淑	08234	賀 真	11672	白 雨田	A0560	シュレスト, スーザン
01906	水戸 美希 (モータメド ・エクテサビ, ミトラ)	08255	黄俊貴文 (グナワン, エディ・スジョノ)	11673	ネメシュ, ノルベルト	A0561	ディ, エベン・スイ
02077	早川 由美	08254	高 麗笑	11674	李 哲雨	A0562	ヴー・タオ・ティトウ
02236	福山 嘉一	08258	張 慶熙	11675	崔 海龍	A0563	劉 偉
02467	高樹 亮一	08262	金 華榮	11677	林 正珉	A0564	王 梅欣
02475	權 貴玉	08270	オンコール, オリガ	11678	李 姪炫	A0565	トゥメンジャルガラ
02739	陳 麗華 (杉本 麗華)	08284	劉 洋洋	11679	金 保叔	A0566	葛 婧
02741	何 玉翠 (北山 玉翠)	08486	朴 貞子	11680	李 承美	A0567	趙 群
56	蔡 麗敏	08966	金 明珉	11681	張 叙	A0568	柳 惠心
02786	施 學昌	08969	林 志煥	11683	秦 爽	A0569	マワー, ブラッドリー・マヴィン
02788	梁 官洙	09163	韓 成一	11684	チャンシリ, ソムチャイ	A0570	グェン, ダオ・トゥック・アイン
02791	姜 兌欣	09164	金 藝蘭	11685	ウィルヨノ, アンドリー	A0571	パヤルセンゲル, ササンバトル
03383	ウエルク, テコラ	09164	金 藝蘭	11686	ユルドゥルム, ファーティ	A0572	チュウチュウ
03400	ザヤニ, モハメッド・ヘディ	09605	聶 智穎	11687	侯 秋恬	A0573	陳 斌
03751	譚 珊珊	09625	曹 婷	11689	謝 安琪	A0574	游 琇媛
03468	李 暎一	09638	ファン・ティ・ミン・ニア	11692	金 銀周	A0575	司馬義 阿布力米提
03507	王 冬蘭	09649	崔 雲澤	11695	秦 剛	A0576	馬 桂霞
03754	シュレスト, ディネス・ブラサド	09654	金 世姬	11697	万 軍民	A0577	殷 娟
03843	田中 明	09659	劉 慶	11698	楊 涛	A0578	阿布都熱西提 木合達斯
04085	田中 敏如	09667	沈 亞琴	11699	張 弘	A0579	智 旭
04089	王 惠津	09673	楊 紅雨	11700	韓 在熙	A0580	丁 英姬
004110	タバオ, ヘンリー・アグレス	09766	李 俊輝	11749	李 冠平	A0581	安 素賢
04707	桂 小蘭	09692	蘇 黎	11751	チャン・ハン・ティ	A0582	蔡 麗玲
04817	洪 萬杓	09797	于 永梅	11831	惠 浩星	A0583	ラカボサ, クレラ
05005	李 文英	09841	謝 立群	11883	李 曉博	A0584	パンヤサクンチャイ, ワスボン
05097	崔 銀珠	10110	褚 斌兵	11884	金 吉中	A0585	王 力
05177	林 勳	10283	李 弘鵬	11909	金 聖姬	A0586	沈 静
05187	蘇 燕	10290	王 淑儀	12299	魏 仙芳	A0587	マウン・ザオ・アウン・トエ
05496	張 起權	10323	王 刺鋒	12300	廖 修雅	A0588	張 小小
05497	周 人英	10332	アン, シニット	12301	廖 修雅		
				12302	呂 煜鉉		

清河法律事務所

弁護士・海事補佐人 清河 雅孝 (元世話RC：京都東)
お気軽にご相談下さい

企業法務：会社法関係、海事・航空・仲裁事件・保険金請求、知的財産権、台湾・中国・スペイン系業務、
国際人材派遣契約・入管業務、各種契約交渉
個人法務：民事訴訟・刑事訴訟、家事・相続事件、その他法律相談全般

米国カリフォルニア州弁護士……キャンデル・キャリン
パラリーガル……二反田 周平/許 淑芬

〒530-0047 大阪市北区西天満1丁目8番9号 ヴィークタワー-OSAKA24階
TEL：06-6360-0434 06-6360-0435 06-6360-0436 (税務) FAX：06-6360-0437
E-mail：legal-km@mx5.canvas.ne.jp http://www.km-legal.com



海外格安航空券・ホテル
詳しくはホームページをご覧ください
<http://www.toys-tour.jp>

お問い合わせ TEL:06-6271-1169
(10:00~18:00)日本語*中国語対応

株式会社トイズ・インターナショナル 大阪府知事登録旅行業第3種2395号 (海外・国内)
大阪市中央区南久宝寺町1-4-15 英華ビル5F
代表取締役 松田 振興 元世話クラブ：奈良大宮RC

有限会社 藤岡運送

代表取締役 藤岡 寧発

本 社 〒556-0014 大阪市浪速区大国1-8-4
Tel:06-6568-0300
西宮営業所 〒541-0053 西宮市西宮浜2-35-1
Tel:0798-26-3234 Fax:0798-26-3220
摩耶倉庫 〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭2-4
Tel:078-805-0355 Fax:078-805-0356
三井住友海上火災保険株式会社代理店トクセイ
大阪長堀橋ライオンズクラブ 副会長
元世話クラブ：姫路RC

荘園福松税理士事務所

税理士 荘園 福松

〒530-0014 大阪市北区鶴野町4番
コープ野村梅田A-216
Tel:06-6375-1070 Fax:06-6375-1049

元世話クラブ：神戸RC

豊田 矯正・歯科医院

院長 張(豊田)秋雄 / 矯正博士 豊田 弘政

診療時間 AM 9:30~PM 12:30
PM 2:30~PM 7:00
但し木曜・土曜はPM5:00まで

休 診 日 日、祝日
〒532-0024 大阪市淀川区十三本町1-4-2-2F
Tel:06-6308-5177 Fax:06-6308-5188
フリーダイヤル：0120-38-4618 (サヤカ ショイン)
E-mail: info@toyota-shikakyosei.com
<http://www.toyota-shikakyosei.com/>

元世話クラブ：大阪西南RC

株式会社 日中青年旅行社

代表取締役 社長 張壁東

本 社 〒543-0056 大阪市天王寺区堀越町16-7
Tel:06-6779-5636 Fax:06-6779-5803
本町支店 〒541-0053 大阪市中央区本町3-5-5
カネセビル5F
Tel:06-6267-0503 Fax:06-6267-0506
名古屋営業所 福岡営業所 神戸営業所 上海営業所

元世話クラブ：大阪住吉RC

高樹医院 (内科・消化器科)

院長 高樹 亮一

〒639-1007 奈良県大和郡山市南郡山町226-2
Tel/Fax:0743-53-0608

受付時間：
平 日 午前 9:00~12:00 午後 4:00~7:00
火・土曜日 午前 9:00~12:00
休 診 日 日曜、祝日

元世話クラブ：京都RC